

2021年度 小委員会活動成果報告

(2022年2月8日作成)

小委員会名	コンクリートブロック塀耐久性向上研究小委員会		主査名：川上勝弥 就任年月：2021年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (組積工事運営委員会)		委員長名：橋高義典 主査名：川上勝弥
設置期間	2021年4月 ～ 2023年3月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>コンクリートブロック塀は、主にコンクリートブロック、目地モルタル、充填コンクリート・モルタルおよび鉄筋により構成され、構成材料を鑑みると鉄筋コンクリート相当の耐久性を有すべき構造体とも考えられるが、実際にはその多くが20年程度で鉄筋の腐食などの劣化が認められる。その原因のひとつに、適切な施工方法に関する設計者、施工者および管理者の理解の不足が挙げられ、組積工事運営委員会では、2018年～2020年度に設置した「コンクリートブロック新工法研究小委員会」において、『ブロック塀施工マニュアル』の改訂、『JASS7』改定に向けた情報の蓄積などを行ってきた。コンクリートブロック塀耐久性向上研究小委員会では、構工法のさらなる改善によりブロック塀の耐久性を高めるべく、目地モルタルおよび充填モルタルの既調合化に向けた実験的検討や、非破壊検査などによる既存ブロック塀の検査方法を検討する。</p> <p>初年度：ブロック塀の構工法の問題点を整理し、特に目地モルタルおよび充填モルタルの既調合化に向け、モルタルの所要性能の整理や実験的研究を行う。</p> <p>2年度：実験結果をもとに、目地モルタルおよび充填モルタルの所要性能を確認する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：川上勝弥 (小山工業高等専門学校) 幹事：山崎尚志 (職業能力開発総合大学校) 委員：井上斉 (ワシロック)、関根高明 (関根ブロック)、高橋和雄 (太陽エコブロック)、本田隆 (マチダコーポレーション)、三田紀行 (三重大学)		
設置WG (WG名：目的)			
2021年度予算	150,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3回 (オンライン会議・メール会議、年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 組積工事用の既調合モルタルについて所要性能の整理や実験的研究の成果を確認した。
委員会活動の問題点・課題	1. コロナ対策のため、オンラインおよびメールにて小委員会を開催したため、十分な検討が行えなかった。